

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所きらり		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年2月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	馬3頭を飼っており馬との触れ合いができる	子どもたちと一緒に、乗馬やふれあい、馬のお世話などに取り組んでいます。 馬を介して地域との交流を行っています。乗馬やふれあい体験のイベントを開催する中で、子どもたちもスタッフとして参加して、仕事の体験やきらり以外の大人や子どもと関わる機会を設けています。活動について、SNSやポスターを使って発信しています。 馬との関わり方もO×表(イラスト・写真使用したもの)を用意して、事前に見て理解できるように工夫しています。	安全に活動をするため、馬の活動や野外活動などの知識と技術を身に付けていきます。 馬の活動に関わる職員を増やしていきたいです。 乗馬できる馬を増やしていきたいです。
2	意思決定支援に重点を置いている	子どもたちが気持ちの表出ができるように、イラストや文字でカードを用意したり、伝えやすい環境・関係づくりに努めています。選択活動を取り入れたり、活動の中で話し合っ取り組むようにしています。	地域にある場所や施設などを今以上に有効活用し活動の幅を広げ、選択肢が殖えるようにしていきたいです。
3	季節のイベントや地域と関わる活動、年代や障害特性に応じた活動など、充実できるように努めている	おもてなしカフェや夏祭り、乗馬会等を行い積極的に地域交流を行っています。	より多くの方に来ていただけるよう、日程調整をしていきたいと思ひます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との交流が少ない	時間の確保が難しく、他事業所との交流・連携が十分に図れていない。	時間の使い方を見直し、支援時間にも職員の連携を取りながら時間を作っていきたいと思ひます。
2	災害時の備えが不足している。	災害時の備蓄や避難経路についてやや不安を感じる。	災害時落ち着いて避難できるよう、避難訓練の実施回数を増やしていきたいと思ひます。
3	保護者同士や兄弟児が交流できる機会が少ない。	年に1回保護者会を行なっていたが短時間のため参加できる人も限られてしまい、交流も十分に出来ていない。	気軽に参加し楽しめるイベントの開催をすることで、交流できる機会を作っていきたいと思ひます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所きらり

公表日 令和8年 2月 27日

利用児童数

48

回収数

33

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	4		3	・十分には言えない。	・グループに分かれ、活動場所を別々にすることにより、スペースの確保に努めています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	6		8	・少ないように感じる。	・配置基準は満たしています。その中で、状況に応じて配置を考えています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1		6	・いろいろ工夫されていると思う。	・送迎時や面談時など、事業所の環境を見ていただく機会を設けていきたいと思っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	3		4	・日々の人数や天候等により活動の空間も制限されることもあるのかなと思っています。	・活動エリアを分け、順番に使うなどし、制限がある中でも、こどもたちに負担がかからないように工夫しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33					・こどもたちの特性に応じた支援ができるよう、専門性よ高めていきたいと思っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		3		・支援プログラムを軸にしながら、柔軟に、こどもたちに合わせた支援を心掛けています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32			1		・発達段階や環境、保護者の方の意見をお聞きしながら、支援のポイントを話し合い作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	1		2		・発達段階や環境、保護者の方の意見をお聞きしながら、支援のポイントを話し合い作成しています。 ・日々の活動に結び付く内容を意識し具体的に設定できるように努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	1				・計画に沿って支援を行う中で、その都度、柔軟に対応していきたいと思っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	3		1	・その日のコンディションによって変えたり固定化しない工夫をされている。	・こどもたちの興味や意見を取り入れながら、活動の幅を広げていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	13	2	2	16	・していると思うけど、その利用日にあたっていないので分からない。	・地域に向けてのイベントを開催したり、地域のイベントに参加したりする中で、関わりを持つことができるようにしています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	1				・利用契約時に漏れの無い説明を行えるように、確認していきます。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	33					・計画を更新するごとに内容も説明させていただいています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	1		2		・送迎時や面談時に、お知らせの声掛けをし、お会いできないご家庭には、ラインでのお知らせをしています。	
15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	31	2			・迎えの時間は忙しいことも多く、その日の内容が聞けないこともあると思います。	・必要に応じて電話連絡や、お会いしてお話をさせていただく場を設けています。	
16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	2				・ご家族と一緒に、こどもたちの成長を見守り、気になった時には、お声かけさせていただいています。	

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31	1		1	・子どもたちの思いやご家族の思いに寄り添える事業所でありたいと思っています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	4	2	7	・気軽に参加して楽しめるイベントなどを開催し、交流の機会を増やしていきたいと思っています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	2		2	・迅速、丁寧な対応につながるように、職員間ですぐに情報は共有し、動いていきたいです。 ・対応の体制も検討していこうと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	2			・迎えの時間、本人の状況等により様子が詳しく聞けない時もあると思います。 ・必要に応じて、電話やラインなどでお伝えさせていただいています。 ・極力、直接お伝えできるように努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	2		2	・SNSやきらりだよりで、発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	1		3	・個人情報に関わる書類はカギ付きのロッカーに保存し、取り扱いに十分留意しています。
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3		3
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	2		3	・訓練をしていることは聞いて知っている。 ・年に1回以上、子どもたちと避難訓練を行っています。 ・事業所の対応について研修を行っています。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28	2		3	・安全計画について、周知できていません。 ・今後、周知、説明していきたいです。
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1		6	・事故が発生した際には、速やかに保護者に連絡するように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	1		1	・子どもたちが、安心できる場所になるように、職員一同、気を配り、見守っていききたいと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	30	1		2	・楽しみにしてもらえるように、活動を工夫したり、環境づくりをしたりしていきます。 ・何かあった時には、すぐに話せる関係作りに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	3			・デイを利用させていただき、大変助かっています。 ・外遊びなども積極的に取り入れていらっしゃるの、人手も多くない中大変だろうと思います。みなさん気さくでよく頑張られています。助かっています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所きらり		公表日		令和8年 2月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・チームを分けや活動場所を分けることにより落ち着いて過ごせるようにしています。	・構造上死角がきやすいため、職員同士でコミュニケーションを取りながら施設全体を把握することを意識していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	・子どもの状態に合わせて配置するようにしています。	・子どもの状態によって職員の数が必要と不足を感じる。・曜日によって少なく感じる。・1人体調を崩してしまうと変わりが無い。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	・身体を動かせる部屋や、リラックスできる空間など、分かりやすい構造になるようにしています。	・全体的に物が多く感じる。視覚的な刺激を減らし、より子どもたちが落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・個別で活動する空間と、集団で活動する空間が見てわかるように設定しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・個別で過ごせる部屋や運動部屋を設置しています。	・使いたい時間が被ってしまった時に、別の個室が用意できないため、順番になってしまいます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・業務の優先順位について、職員間で検討しながら、業務にあたっています。	・ひとりひとりが無理なく取り組めるように業務の優先順位や分担について見直していきたいです。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・保護者向けの評価表だけでなく、直接ご意見をお伺いするようにしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・月1回、全職員で会議を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・第三者委員会は設置できていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・研修を受講できる機会を確保しています。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・支援プログラムをホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・職員で課題を分析し、計画を作成するようにしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・計画に基づいて支援を行い、評価や振り返りを記録するようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・日々の活動の中で評価を行い、次の支援に繋げるようにしています。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 適切な支援内容になるように、話し合っています。 日々の活動に結び付く内容を意識し具体的に設定できるように努めています。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 意見を出し合っています。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 毎日何か子ども達を楽しめるようなプログラムを組むようにしています。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 個別での活動が落ち着ける場合などではそのように支援しています。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> その日の流れの確認を毎日行っています。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りや、気になった点などは記録に残しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 正職が送迎があり、パートの職員と時間が合わないため、全員揃っての振り返りは難しいです。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 必ず記録は書いています。 気になることがあった場合には、別に記録をとるなどしています。 	
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 6か月ごとに行っています。 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 個々の成長に合わせ、柔軟に組み合わせるようにしています。 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> お手伝いなどの選択、遊びの選択等準備して支援することもある。 	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が、事前に他の職員にも話を聞いています。 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 何かあった時には、すぐに連絡を取っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で連携体制を確認できていません。 職員会議の場などで確認していきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ラインや子ども達が持って帰る行事予定などをコピーして分かるようにしている。 保護者との連絡を随時取るようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 見落としてしまうことがあるので、複数の職員で確認しています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 引き継ぎの場を設定しています。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> 様子をまとめたものや、使用していたグッズなど提供しています。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> 調整して、時間を作っています。 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2	<ul style="list-style-type: none"> 地域に向けたイベントを開催したり、地域のイベントに参加したりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブ、児童館との直接的な交流の機会はないです。 今後、そのような機会を設けられたらと思います。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・送迎時必ず伝えるようにしている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		・お手紙を配布し、お声かけしています。 ・直接、お渡しできないことがあります。 ・ラインでお伝えさせていただいています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に説明しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・送迎時や面談時にご家族の想いをお聞きしています。 ・一緒に活動する中で、子どもたちの想いを聞いたり、感じたりできるように努めています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			・時間を作って、お伝えしています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			・担当関係なく、適任と思われる職員が、お話を聞いています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	1		・保護者会に代わる、気軽に参加できるイベントを考えていきたいと思えます。 ・きょうだい同士の交流の機会は設けられていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			・その日のうちに、保護者対応、職員間での情報共有を徹底していきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2		・毎月1回、おたよりを発行しています。 ・定期的にSNSでの発信もしています。 ・SNSは、見れない保護者の方がいらっしゃるかもしれません。 ・SNSの一コマをおたよりに載せています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			・ファイルはカギ付きのロッカーに保管しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			・個々で支援グッズを用意しています。 ・保護者のかたにも見ていただいて、具体的に様子がお伝えできるようにしています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		・乗馬会やきらっとはーと展、夏祭り等を開催し、地域と関わる活動を取り入れています。 ・今後、広げていきたいと思えます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			・定期的に訓練を行っています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			・年に数回、子どもたちと行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			・契約時や必要になった時点で保護者にお知らせいただけるようにしています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	4		・該当するこどもの利用がありません。
非常						

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	・定期的に訓練を行っています。	・職員間で確認する時間を設けていきたいと思います。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・避難訓練など、その都度行った内容をお伝えするようにしています。	・家族との連携について、職員間で確認していきたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・その都度、全職員で検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・研修を受ける機会を確保しています。 ・復命しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時や面談時に説明しています。	